
Ⅲ. 各大会競技規程

1. 東京都高等学校対抗柔道大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

(1) シード基準について

A. 男子団体試合・女子団体試合

- 第1シード 前年度優勝
- 第2シード 前年度準優勝
- 第3シード 前年度第3位
- 第4シード 前年度第4位
- 第5シード 支部大会優勝
- 第6シード 支部大会準優勝
- 第7シード 支部大会第3位
- 第8シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

(2) 順位(代表)決定について

A. 男子団体試合

【代表が9～11校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。次に、3回戦敗退校(ベスト16)の8校により、順位決定トーナメント戦を行い、上位校を第9～11代表と決定する。

B. 女子団体試合

【代表が7校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、準決勝進出校が第1～4代表となる。次に、準々決勝敗退校(ベスト8)の4校により、順位決定トーナメント戦を行い、上位を第5～7代表と決定する。

【代表が8校の場合】

トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。

2. 東京都高等学校総合体育大会柔道競技大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

(1) シード基準について

A. 男子団体試合・女子団体試合

- 第1シード 前年度優勝
- 第2シード 前年度準優勝
- 第3シード 前年度第3位(2校)
- 第4シード 支部大会優勝
- 第5シード 支部大会準優勝
- 第6シード 支部大会第3位
- 第7シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 男子個人試合・女子個人試合

- 第1シード 支部大会優勝
- 第2シード 支部大会準優勝

第3シード 支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

3. 東京都高等学校学年別柔道大会

(1) シード基準について

A. 男子団体試合(3学年の部)

第1シード 前年度「2学年の部」優勝

第2シード 前年度「2学年の部」準優勝

第3シード 前年度「2学年の部」ベスト4

※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 男子個人試合・女子個人試合(3学年の部)

※支部代表者の責任抽選とする。

(2) 順位決定について

A. 男子団体試合(1学年の部・2学年の部)

関東高校選抜大会予選の結果を考慮して、男子個人戦各階級第5位以上の入賞者を対象に、各校3名を評価の上、8校以内を表彰する。

①優勝の人数が多いチームを上位とする。

②上記①で同等の場合は、準優勝の人数が多いチームを上位とする。

③上記②で同等の場合は、第3位の人数が多い選手を上位とする。

④上記③で同等の場合は、第5位の人数が多いチームを上位とする。

⑤上記④で同等の場合は、上位4人目以降の成績を比較して順位を決定する。

4. 東京都高等学校柔道選手権大会・東京都高等学校女子体重別柔道大会 兼 関東高等学校選抜柔道大会東京都予選会

(1) シード基準について

A. 男子個人試合・女子個人試合

第1シード 支部大会優勝

第2シード 支部大会準優勝

第3シード 支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

(2) 順位(代表)決定について

A. 男子個人試合・女子個人試合

【代表が5名の場合】

参加者が8名以上の場合、トーナメント戦を行い、準決勝進出選手が第1～4代表となる。また、準々決勝敗退選手(ベスト8)4名により、第5代表決定戦を行う。

原則として、3位決定戦を行う。但し、同一校から複数名がベスト4となった場合、優勝選手と同一校の選手を第4代表、準優勝選手と同一校の選手を第3代表として、3位決定戦は実施しない。

【代表が4名の場合 :参加者が8名以上】

参加者が8名以上の場合、トーナメント戦を行い、決勝進出選手が第1・2代表となる。また、準決勝敗退選手(ベスト4)2名および準々決勝敗退選手(ベスト8)4名、計6名によるダブルレペチャージ方式の第3・4代表決定戦を行う。

原則として、3位決定戦を行う。但し、同一校から複数名が代表となった場合、優勝選手と同一校の選手を第4代表、準優勝選手と同一校の選手を第3代表として、3位決定戦は実施しない。また、すでに実施済みの対戦となった場合には、その勝者を第3代表、その敗者を第4代表として、3位決定戦は実施しない。以上、2つの条件が重複した場合、後者を優先とする。

【代表が4名の場合 :参加者が6～7名】

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位1位どうし

で優勝決定戦を行う。また、「Aの2位」対「Bの3位」および「Bの2位」対「Aの3位」による第3・4代表決定戦を行う。
原則として、3位決定戦を行う。但し、同一校から複数名が代表となった場合、優勝選手と同一校の選手を第4代表、準優勝選手と同一校の選手を第3代表として、3位決定戦は実施しない。また、すでに実施済みの対戦となった場合には、その勝者を第3代表、その敗者を第4代表として、3位決定戦は実施しない。以上、2つの条件が重複した場合、後者を優先とする。

【代表が3名の場合 :参加者が8名以上】

参加者が8名以上の場合、トーナメント戦を行い、決勝進出選手が第1・2代表となる。また、準決勝敗退選手(ベスト4)2名で第3代表決定戦を行う。

【代表が3名の場合 :参加者が6~7名の場合】

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位1位どうしで優勝決定戦を行う。また、「Aの2位」対「Bの2位」による第3代表決定戦を行う。

【代表が3~4名の場合 :参加者が5名以下】

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、代表を決定する。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。GSの有無や指導差は考慮しない。

①必ず勝敗を決する。

②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。

③上記②で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。

④上記③で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。

⑤上記④で同等の場合は、「有効」優勢勝ちの多い選手を上位とする。

⑥上記⑤で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。

⑦同じく、上記⑤で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。

5.東京都高等学校新人柔道大会・東京都高等学校女子団体柔道大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会 -----

(1)シード基準について

A. 男子団体試合・女子団体試合

第1シード 前年度優勝

第2シード 前年度準優勝

第3シード 前年度第3位

第4シード 前年度第4位(男子代表枠が2校の場合には、第3シードと同位置)

第5シード 支部大会優勝

第6シード 支部大会準優勝

第7シード 支部大会第3位

第8シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 男子個人試合・女子個人試合

第1シード 支部大会優勝

第2シード 支部大会準優勝

第3シード 支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

(2)順位(代表)決定について

A. 男子団体試合

【代表が3~4校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。さらに、残りの準々決勝進出校6校により、順位決定戦を行い、第3・4代表を決定する。

【代表が2校の場合】(勝ち抜き試合)

トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。また、準決勝敗退校(ベスト4)の2校により、補欠決定戦を行う。

【代表が2校の場合】(点取り試合)

まず、トーナメント戦を行い、上位4校からは決勝リーグ戦により、上位2校を決定する。第3位を補欠校とする。なお、決勝リーグ戦におけるチーム間の勝敗が同内容の場合、引き分けとする。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。

- ①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1分1敗、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
- ②上記①で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
- ③上記②で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ④上記③で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ⑤上記④で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ⑥上記⑤で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑦上記⑥で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑧上記⑦で同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑨上記⑧で同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑩上記⑨で2校同等の場合、リーグ戦での当該試合における勝者を上位とする。当該試合が引き分けであった場合、大会規程に基づいた代表戦(男子は任意、女子は引き分けた対戦)を1回行う。
- ⑪上記⑨で3校同等の場合、リーグ戦での当該対戦の結果を考慮せず、抽選により代表決定トーナメントを組み直す。各試合は大会規程に基づいた代表戦(男子は任意、女子は引き分けた対戦)を1回行う。なお、女子団体戦において、当該対戦に引き分けが無かった場合には、抽選により対戦カードを決定する。

B. 女子団体試合

【代表が2校の場合】

男子団体試合(点取り試合)の内容に準ずる。

C. 男子個人試合

【代表が2名の場合】

まず、トーナメント戦を行い、上位4名からは決勝リーグ戦により上位2名を代表とする。なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、第1試合に行うものとする。

なお、前年度「全国高等学校柔道選手権大会」優勝選手が同一階級で出場する場合には、東京都予選出場を免除して東京都第一代表に推薦し、第二代表は通常トーナメント戦で決定する。

D. 女子個人試合

【代表が2名の場合 : 参加者が8名以上】

男子個人試合に準ずる

【代表が2名の場合 : 参加者が6~7名】

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位2名を決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメントの組合せは、「Aの1位」対「Bの2位」および「Bの1位」対「Aの2位」とする。

【代表が2名の場合 : 参加者が5名以下】

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、上位2名を決定する。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。GSの有無や指導差は考慮しない。

- ①必ず勝敗を決する。
- ②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
- ③上記②で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。
- ④上記③で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- ⑤上記④で同等の場合は、「有効」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- ⑥上記⑤で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
- ⑦同じく、上記⑤で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。